



創刊号

平成8年3月31日発行
那珂町歴史民俗資料館
(那珂総合公園内)

戸崎428-2 ☎ 297-0080



創刊に寄せて

町教育委員会
教 育 長

加 藤 忠 行

平成六年五月、那珂総合公園の開園と同時に、公園内に『那珂町歴史民俗資料館』が開館いたしました。

この資料館は、町内からの出土品や、遺跡・古墳・城館跡・古文書民俗資料等の昔からの民間の習俗に関わる展示物とおして、那珂町の歴史・民俗を知ったり、講師をお招きして歴史を学んだりするための拠り所として、建設したものです。

資料館には、常設展示室・多目的室・収蔵庫・事務室等があります。

常設展示室では、町内から出土した縄文・弥生式土器をはじめ中世の額田城跡模型・曲がり屋のミニチュア等が展示されています。

加えて、『水鳥が語る古代のロマン』の映像も見られるようになっていきます。

展示品の細かいことについては次のページ等に紹介してあります。うえに、特別企画展を行った様子や、当館に寄せられました皆様の

あたたかい声等ものせてありますのでご覧いただき、さらに開館以来の様子もご理解下さるよう、お願いいたします。

今後は、限られた施設を、より有効に利用出来るよう心掛け、皆様に親しまれる歴史民俗資料館にしたいと思っています。

このことは、人にやさしく、文化の香り高い明るい町づくりに、寄与できるものとも考えております。

さて、この度、開館三年目を迎えるのを契機として、那珂町歴史民俗資料館だより『水鳥』を、毎年発行することになりました。

この資料館だよりには、当館の展示品の紹介や、解説、それに、来館された方々の様子や、当館に寄せられました皆様の声。それに、各種の催し物の紹介等をのせて、歴史・民俗等に対する興味や関心を、より高めるための『かけ橋』にしたいと願っていますので、皆様方のさらなるご協力・ご支援をお願いいたします。

館内展示品案内 (1)



。はじめての方のために館内展示品についてガイドいたします。現在の総展示品数は102点あり、土器出土品・古文書等は77点・写真・パネル・絵図等は25点です。

① 土器の遍年

那珂町内より出土した縄文・平安時代にいたる土器および石製品を年代順に展示しています。遺跡・古墳は久慈川沿いの台地に多く、森戸遺跡より出土した石鏃・勾玉・首飾り・紡錘車も展示しています。

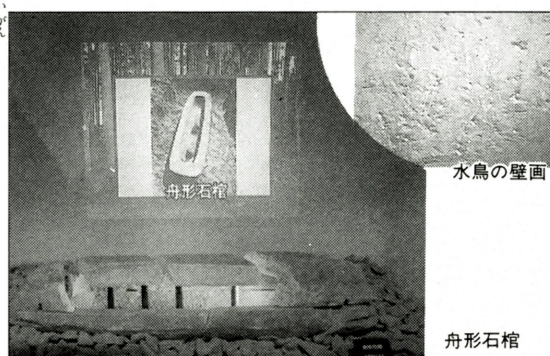
町内白河内古墳の内部壁面に、水鳥の壁画が描かれており、あの世へのいのりを、空を飛べる水鳥に託したのではないかとわれています。へ本紙の題名はここから採用」、一方、昭和51(1976年)9月には額田伊達一号墳より、



凝灰岩をくりぬいてつくられた舟形石棺が出土しました。いずれも古墳時代後半の頃のものです。このような「町の古代」については、映像とC・Dにより「水鳥が語る古代のロマン」で分りやすく説明しています。(約6分)

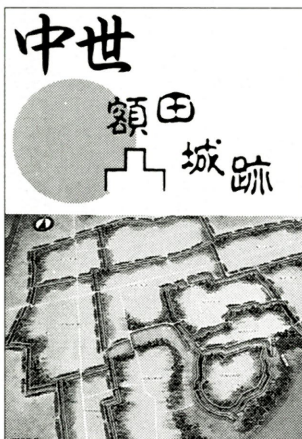
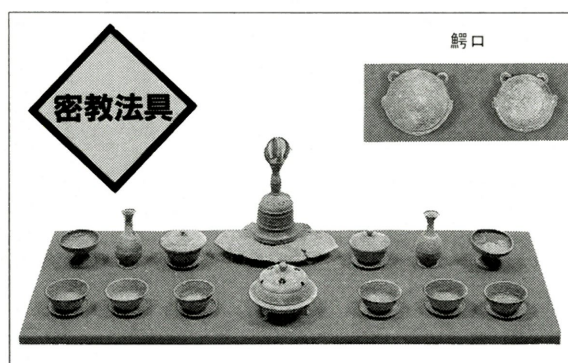
② 佐竹氏の台頭と築城

額田氏の始祖は、佐竹五代義重の第二子の義直で建長元年(1249年)額田に住し、額田氏を称しました。額田城は、建長年間(1249〜55年)築城されました。当時の額田城は、溜池・水田・谷地に囲まれた島城の台地につくられ、南北約840m、東西1140mとかなりの規模をもち、本丸・二の丸・三の丸の複郭型城郭でした。



③ 武士と信仰・仏教美術

町内門部リユウガイ遺跡より出土した密教法具です。平安時代初期、天台・真言の密教が開化しており、これらは密教修法上不可欠なものでした。金剛盤、火舎、六器、飲食器、花瓶の一面器と二器(塗香器)など揃って出土しました。その他2個の鰐口も出土し、それぞれ応永18年(1411年)、応永20年(1413年)の銘があります。



武士文化



千 利休

古田織部

佐竹義宣

● 那珂町に残る中世美術(パネル)
町内の寺院には、いくつかの豪華で力強い中世美術が残されています。佐竹氏本宗の祈禱寺一乗院には運慶作と伝えられている毘沙門天像と平清盛が修繕させたと言われている毘沙門堂があります。

親鸞聖人ゆかりの上宮寺には鎌倉時代に描かれた聖徳太子絵伝が残されており、国の重要文化財に指定されています。

(以下次号につづきます)

《特別企画展》 「戦後五〇年の歩み」開催される



「那珂町戦後50年の歩み」農業とくらしが、昨年11月1日から11月30日まで、一か月間開かれました。展示品は195点を町内有志の方のご協力をいただき公開することができました。各小学校から絵画が出品され多目的室は大盛況でした。

会期中の入館者は、町内924名、町外327名で総数は1251名でした。

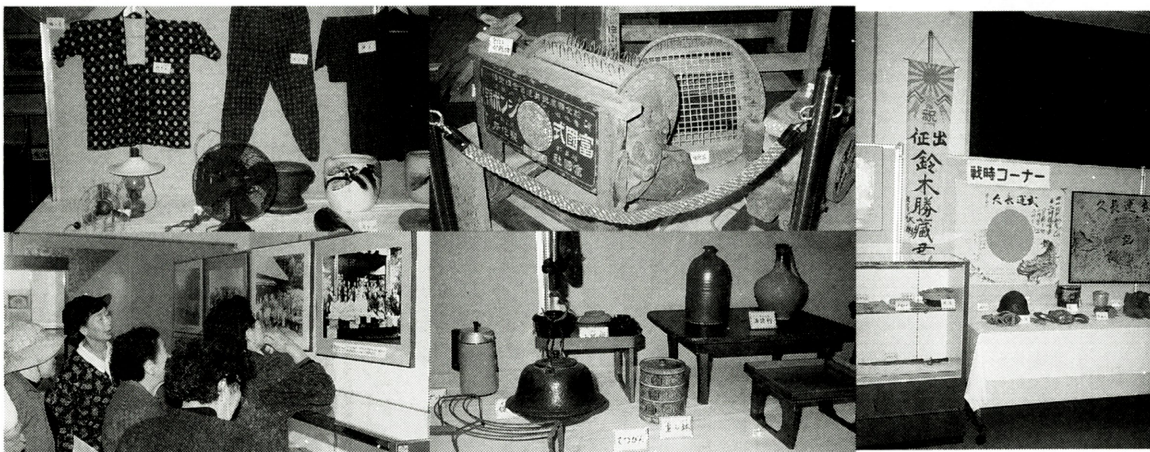
▼本企画展では、太平洋戦争から戦後50年の町民の歩みをくらしと農業の視点から回顧することでした。展示コーナーは次の五つに分けました。

(1) 戦時中、(2) 衣と住、(3) 食と生活、(4) 農具、(5) 未来の那珂町

(児童画)

(1)～(4)までのコーナーでは当時使用された諸用具等を中心に展示し、実写された写真も展示しました。一つ一つの展示品には、それぞれ当時の悲喜こもごもの思い出がこめられ、また、その時代の生活や産業を支えてくれた貴重な品々でした。それらは今日の発展の基礎を築いてくれたものでした。

本企画展を機会に、一度と戦争を繰り返さないこと、過去の生活や農業の実態を次の世代に語り継ぐようにしたいものです。そして明るく文化の香り高い住みよい町づくりの糧になってくれたと思います。最後に、本企画展にご協力を頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。



【出品協力者氏名】

*ご協力いただいた方々（アイウエオ順、敬称略）

会沢豊二・秋山はま子・阿久津多門・石川正・石川英夫・市村久一・稲田則昌・大和田まき・加倉井国男・鴨川二次・鴨志田文男・黒沢昭・黒沢勝美・小澤廣伸・後藤光雄・小林茂・近藤末雄・斉藤寿恵子・佐久

感想・意見より

●ビックリしましたの一言です。関係者の努力に感謝いたします。日本の縮図を見た思いです。次回のPRには那珂広報ばかりでなく他市町村までPRして下さい。
(福田・男性)

●こういう企画展を常設展示として残してほしい。
(菅谷・主婦)

●民俗資料館があることを初めて知ったマスコミ等を通してPRして下さい。
(50才・男性)

▼資料館展示資料寄託者

館内展示室の展示資料は、町内の皆さんから寄託を受け、平成六年度開館時より展示しており、平成八年度は三年目になります。引き続き寄託を受け展示させていただくことになりました。また、平成六年度開館に先立って、福田・小室勲様より「曲がり付き民家」「長屋門」のミニチュア模型、鴻巣・高島進様より「藁奉殿」が寄贈されました。

関係の皆様は、厚くお礼申し上げます。

●平成八年度展示資料寄託者(敬称略)

・片岡 六郎・大曾根 猛・山田 満彦
・藤堂 貞雄・秋山 護・植田 喜一
・山田 正・草野 昇・中井川裕一

《特別企画展のお知らせ》

平成八年度は

『那珂町の絵馬展』を開催

絵馬とは、古くから庶民が祈願や報謝のために、寺社に奉納する絵の額のことです。

●開催時期 十一月(予定)

●会場 那珂町歴史民俗資料館

●詳細については、後日那珂広報等でお知らせいたします。

山茂・佐々木恒行・庄司良文・菅谷小学校
菅谷西小学校・住谷勇・ダイヤプラザ那珂
高島溢・飛田正一・富岡銀二郎・富岡茂・
富山俊一・富山保・豊島勇・中井川裕一・
仲田義一・那珂町史編さん室・長沼宏平・長
山美佐男・滑川薫・沼田三次・萩谷保・平
山操・松山敬司・三田寺幸明・谷地一・山
崎和雄・横須賀良子・吉原晃・鷲尾瑞穂・
町内各小学校

●戦後50年の歩みを展示物を通して肌で感じ大変勉強になりました。また、なつかしく思いました。(門部・男性)
●古い物がよくとってあって、とても生活が分かった。ちょうど戦争の学習をしていたので、参考になった。
(ひたちなか市・小六男)

●私は戦争の体験がなく教科書を通して戦争のことを知りました。実際に展示物を見て勉強になりました。
(横堀・会社員)

・横須賀 一・那珂きくえ・大和田まさ
・住谷 毅・松山 栄・勝山 文久
・渡辺 真王・植田 仁・那珂三中
・額田本後町・額田神社
(資料館展示品台帳より)

「入館者一万人達成」

平成7年
10月15日

開館して一年半後に、めでたく一万人の入館者を記録しました。その日は総合公園で軽スポーツまつりでにぎやかでした。バスケットボールに参加していた菅谷東小五年生の仲田智美さんが、その荣誉に輝き、加藤教育長から認定証と記念品が贈呈されました。

記念品の那珂町史三冊をもらった仲田



仲田智美さん記念撮影

さんは、

「とてもうれしい。これから町の歴史を良く知るように勉強します。」と、語ってくれました。

開館以来すでに何回も来館されている方がいます。次の二万人目は、いつ頃になりますか。今後も皆様に親しんでいただく資料館にしていくよう努めます。再来館をお待ちしております。

「目安箱(アンケート)より」

これまでに622名の入館者がアンケートを寄せてくださいました。

(1) 展示コーナー別で良かったもののベスト3

コーナーで良かったものの最上位は「水鳥が語る古代のロマン」で、舟形石棺(実物)・映像(CD)、次が「縄文・奈良・平安時代の土器・石器類」、第三位が「農家のくらし、曲がり付民家・長屋門模型(実物の1/25大)」でした。

(2) 入館者の感想・意見

● 那珂町に長年住んでいながら、歴史についてほとんど無知だったことを知らされました。

(菅谷・28才・女性)

● 私は水戸市に居住する者ですが、身近なところに歴史のある町があったとは認識不足でした。改めて興味を持ちました。大変立派な施設で感心しました。

(水戸市・会社員)

● 那珂町の昔にこんな物があったのかと感激しました。これほどの遺跡等が存在していたとは思っても見なかった。大変参考になった。

(中台男性)

● 「舟形石棺」・「水鳥が語る古代のロマン」の映像はとても良かった。

(水戸・団体職員・男性)

● 学校でならった所よりくわしくわかりやすかったです。昔のことが良くわかった。

(菅谷・小学生・女子)

● 僕は今まで那珂町には歴史っぽいものは何もないと思っていたのに、前方後円墳などいろいろあると知ったら、僕は那珂町に住んでよかったなと思う。

(菅谷・中学生)

(3) 今後の企画展の希望

● 個人の所蔵品「わが家の秘宝展」

● 徳川将軍、三名家、水戸光圀

● 佐竹氏について

● 「佐竹氏450年の栄華と衰退」

● 那珂町のむかし(民話・昔話・写真展)

● 町文化財の写真展・絵画展

● 那珂町の神社と祭り展

「編集後記」

那珂町歴史民俗資料館が開館し、より多くの町民の皆様に、その活動や歴史・民俗について理解を深めていただくため、資料館だよりを発行することになりました。

「私は水鳥……」のナレーションが本館の第一声なのです。1300年前の門部白河内古墳(壁画)の図絵・水鳥をキャラクター化して「水鳥が語る古代のロマン」の映像が特別展示室に映写され、テープより音声の流れ解説します。その水鳥をこの資料館だよりの紙名とさせていただきます。これからは多くの町民の皆様に親しまれる資料館をめざしております。

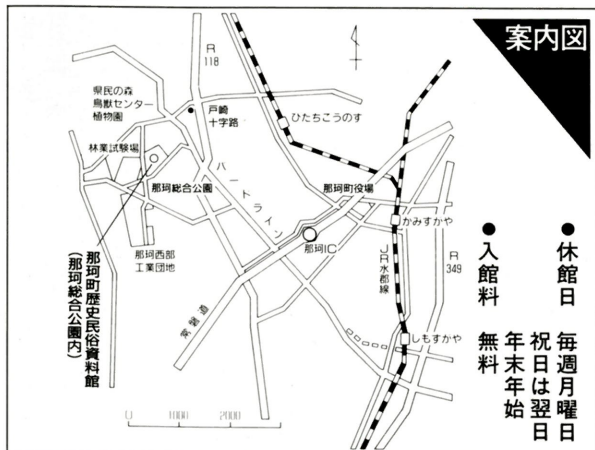
どうぞ、近隣の方々お誘い合わせのうえ、ご来館下さいませようお待ちしております。

(事務局 Y・N)

▼入館者月別・町内外別調 (4/1~3/31)

月	開館 日数	入館者数			団体入館者等
		総数	町内	町外	
4	26	428	244	184	・ひまわり荘・戸多小6年生 ・堤正徳老人会
5	26	688	261	427	・戸多小6年生・少年野球茨城大会
6	26	408	294	114	・菅谷東小3年生・町政モニター ・ホームステイ・戸多体協・美野里スポーツ振興会
7	26	326	219	107	・町体協・支部対抗球技会 ・町子連球技会
8	25	659	360	299	・町教育関係新採・転入者研修会 ・消防団ソフト大会・木崎体協球技会 ・近郊中学球技会・町長杯少年野球・婦人バレー大会・高令者大学
9	26	364	190	174	・体協町大会・空手大会・写真展
10	24	580	434	146	・町スポーツ少年団運動会・福島県船引町体協・町軽スポまつり・戸多歩く会・ふるさと教室・五台小3年生
11	26	1,251	924	327	・戸多体協球技会・千葉県教育委員会・経済連レク大会・県民スポーツ大会・町制40周年記念式典・空手大会・千葉県文化財センター・福島県田村郡体協
12	21	250	192	58	・菅谷西小3年生 ・町冬季駅伝大会
1	23	202	72	130	・東海村教育振興会役員・猿島町教育委員会・外国人家族2団体
2	25	221	54	167	・伊奈町体協・日高市教育委員会・県埋蔵文化財係・大宮町議団
3	27	246	122	124	・福島県船引町役場・常陽明治記念館 ・猿島町教育委員会・山武考古学研究所
計	301	5,623	3,366	2,257	累計 12,478

案内図



● 休館日 毎週月曜日
祝日は翌日
年末年始

● 入館料 無料